

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和3年8月20日

ふりがな	ぼうぜちくかつせいかけいかく
活性化計画名	坊勢地区活性化計画
ふりがな	ひめじし
計画主体名	姫路市
計画期間	平成26年度～平成30年度
事業実施期間	平成28年度～平成29年度
活性化計画区域	兵庫県姫路市家島町坊勢

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
交流人口の増加	18,000人	36,000人	200%	
雇用者数の増加	1人	2人	200%	
離島航路離発着場利用満足度の増加	75%	80%	106%	

(コメント)

本事業で整備した離島航路離発着施設を活用し、来訪者や地域内居住者の利便性の向上や安全確保に取り組んだ結果、交流人口の増加、雇用者数の増加及び離島航路離発着場利用満足度の増加のすべての事業活用活性化計画の目標を達成することができた。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	㊤船舶離発着施設	
事業内容及び事業量	待合所 アーケード ロータリー	
事業実施主体	姫路市	
管理主体	姫路市	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年 4 月 1 日
事業の効果	船舶離発着施設の整備により来訪者や地域居住者の利便性が向上することで、地域間交流の促進が期待できる。	

(3) 総合評価及び今後の方針

(コメント)
本事業で切符売場や休憩所、観光関連の情報コーナー等を有した待合所、衛生的なトイレや人と車両の動線を分離するアーケード、ロータリーを整備し、来訪者や地区内居住者の利便性の向上や安全性の確保できたことにより、交流人口、雇用者数及び離島航路離発着場利用満足度が増加した。今後もこの施設を利用することで、事業効果の継続に努めていく。

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 坊勢区会 区長	(氏名) 池田一憲
(コメント)	立派な施設ができて坊勢区民みな喜んでいいる。これで来訪者を胸をはって受け入れできるようになった。また、ロータリーが整備され、コミバスの利用者が増加したり、売店で味の付けのりやカラスミなどの坊勢の特産物の売れ行きも好調で、さらには船舶離発着施設周辺の商店の売り上げも増加したと聞いている。今後もこの施設を利用し事業効果を継続してほしい。以上により評価は妥当と考える。	

2 活性化計画の目標の評価等

(1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の 目標及び達成度	目標	平成 30 年度の年間離島航路利用者数を 12 万人を上回る。		
		目標値 A	実績値 B	達成率 $C = B / A$
		120,000 人	132,651 人	110.5%

(2) 今後の方針

(コメント)

本事業で整備した船舶離発着施設を継続して利用することで、引き続き離島航路利用者の利便性の向上や安全性の確保により、定住人口減少の抑制を目指すとともに、地域間交流の促進による地域の活性化を図る。

(3) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 坊勢区会 区長	(氏名) 池田一憲
(コメント)		
船舶離発着施設を整備してもらって心から感謝する。暑さ寒さ風雨をしのげる待合所、24時間使用できる衛生的なトイレなど、施設を使用する島民や来訪者のすべてが喜んでいる。この施設が完成して、定住人口減少の抑制や、地域間交流の促進による地域の活性化に寄与しているものと考えられる。		

【記入要領】

- (1) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要領第16の1の(3)のア及びイに基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (2) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は、事業メニューごとに作成すること。また、「事業の効果」には目標の達成に直接関係する効果だけでなく、事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果（取組への参加や地域内で行われた話合の回数などの地域の変化を表す数値等を含む））を幅広く記入すること。